



相手に生きる

学校教育目標 「相手に生きることによって自己を生かす」
西中スタンダード「あいさつ」「歌」「清掃」「花」「服装」「時間」

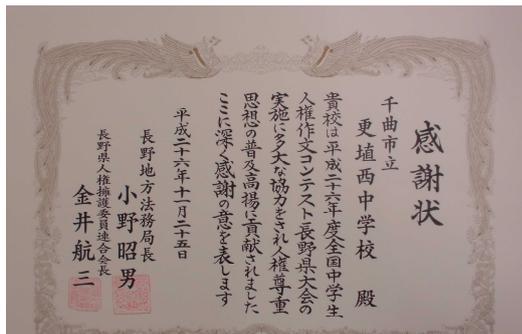
人権教育強調月間を実施しました

11月、本校は人権教育強調月間として、生徒・教師ともに人権感覚を高める取り組みを行いました。月間の前半の校長講話は、過去にニュージーランドでホームステイをした学校長の体験談でした。まずは、ニュージーランドの開拓者のマオリの人たちと後から流入してきたイギリス人たちの間の歴史の中で、お互いの文化を理解して尊重していこうという土壌が育ったこと。一人ひとりの人間が大切にされていることを8週間の滞在で感じたこと。等を導入とし、西中生徒一人ひとりのよさを大事にし、一人ひとりの人権が尊重される社会(学校)を築いていこうと呼びかけました。

PTA主催人権教育講演会 「いのちと心の授業 —自分も人も大切に— 中村美幸さんを招いて

11月28日(金)第4回学校開放参観日のおり、講師に本校の卒業生でもあるオフィスブリエ代表の中村美幸さんを迎え、PTA主催人権教育講演会を開催しました。ご長男とわずか1年4ヶ月

月での永遠の別れの経験を中心に、多感な時期の本校生徒に命の大切さを語っていただきました。ご来校いただけなかった皆様はぜひお子さんに講演のことをお聞きください。また、ご著書「いのちの時間」を2冊ご寄贈いただき、本校の図書館に置いてあります。お子さんを通して貸し出しできますので、ぜひお読みください。



中学生人権作文コンテストで
法務局より感謝状をいただきました

こりうる様々な差別に対して、正しい認識を持ち、偏見や思い込みによって人間が作りだした差別を解消していこうとする意思が持てるよう取り組みました。いじめや差別のない更埴西中を作っていくことを決意して、月間を終えました。中学校生活において悲しい思いをしている生徒が1人もいないようこれからも取り組んでいきます。よろしくお祈りします。

また、今年も全校で稲荷山共同作業所・満天の星の方々との「福祉交流会」、2年生・3年生・6,7組で稲荷山養護学校との交流も行いました。

1学年はロールプレイを行ったり、ビデオ教材「青い目茶色い目」を使ったりして身のまわりの差別について考えるを通して、様々な人権問題の解決に積極的に関わろうとする意欲が持てるよう取り組みました。2学年で江戸時代からの差別の歴史を正しく理解し、クラスの実情に合わせた人権宣言を作成する取り組みを行いました。3学年は部落差別を更に深く学び、結婚差別など身のまわりに起



満天の星の皆さんとの交流会

朝学習を始めています

3年生を中心に、朝7時30分から、会議室を開放して朝学習を始めています。この日は、5名の生徒の利用があり、当番の職員にわからないところの質問している姿も見られました。早朝の本校では唯一の「信州あったかシェアスポット」でもあります。1・2年生の皆さんも遠慮なく利用してください。3月まで継続していきます。

保護者の皆さんや地域の方で、朝学習の時間帯（7：30～8：00）に生徒のために、学習支援のボランティアをしていただける方がおりましたら、ぜひ学校までお問い合わせください。学校では、地域の皆様のお力もお借りして、生徒の学力向上を図っていきたくと考えております。よろしく申し上げます。



国際ソロプチミスト千曲様より 本校へご寄付をいただきました

平成22年度に引き続き、国際ソロプチミスト千曲様より、本校図書館の充実のため、先日、千曲市教育委員会を通してご寄附をいただきました。ありがとうございます。早速、書籍購入に使わせていただき、先日、注文していた新しい本が図書館に入り「国際ソロプチミスト千曲文庫」として、早速貸し出しを始めています。

購入した本は、『ちくま評伝シリーズ〈ポルトレ〉』筑摩書房 スティーブ・ジョブズ、ネルソン・マンデラなど、中高生に向けて書かれた人を知り世界を知るための伝記シリーズ。10冊をはじめ、『学研まんがNEW日本の歴史』全13巻 『ビジュアル世界史1000人』 『絵といっしょに読む国語の絵本』全5巻 『絵で見てわかるはじめての漢文』全4巻 『歴史なるほど新聞』全10巻 『江戸人物伝 徳川家光』など、全部で57冊です。



今年度の西中キング・グランプリは3年3組に



生徒会では、西中の伝統を繋ぐため、日常生活の向上をめざした生徒会の取り組み（今年度は「西中スタンダード（あいさつ、歌、清掃、花、服装、時間）」定着のため、田毎祭での表彰をやめ、11月まで延長して取り組みました）をポイント化し最もポイントを獲得したクラスが表彰される西中キング・グランプリに3年3組が輝きました。

2位は1年2組、3位は1年3組でした。

3年3組担任（河村）から生徒へのメッセージ「Kingおめでとう。おごらず油断せず、今までできたことはこれまでどおり、できないところはできるようにしていこう。皆ととれたKing、心から嬉しいです。Kingの名に恥じない受験生であれ」 なお、このトロフィーは、第16代校長の市川文夫先生から寄贈いただいたものです。

（文責 長谷川）